

企業大集合「部門における企業の活躍」企業会員が語る

2014年4月1日

報道関係各社 御中

一般社団法人日本機械学会

一般社団法人日本機械学会は、機械工学・機械技術に関する21専門分野（部門）の産業界の活動に焦点をあてて、標記の企画を開催いたします。

少子高齢化，エネルギー危機，地球環境問題等の難しい課題の中で，日本のモノ作りを空洞化させることなく持続的成長を模索する途を学会活動の一環としても御紹介いただくものです。

機械学会と企業が一体となって日本の危機を乗り越えていくための啓示を得ていただく場としても，是非多くの皆様のご参加をお待ちしております。

◇開催日時 2014年4月18日（金）10時～15時10分

◇会場 明治記念館（東京都港区元赤坂2-2-23）

◇入場無料

会員・会員外を問いません。定員200名になり次第締め切ります。

日本機械学会ホームページ（<http://www.jsme.or.jp/>）からお申込み下さい。

◇講演内容 10分/件

開始	部門名	発表者名	所属	発表テーマ
10.10	材料力学	猪狩 敏秀	三菱重工業(株)	エネルギー機器および航空機開発と材料力学
10.20	流体工学	能見 基彦	(株)荏原製作所	温故知新 学会のビッグデータを活かす
10.30	熱工学	藤森 俊郎	(株)IHI	次世代の石炭火力発電技術実現に向けた取り組みと機械工学の役割
10.40	機械力学・計測制御	今西悦二郎	(株)神戸製鋼所	マルチボディダイナミクスの油圧ショベル省エネ技術への応用
11.05	計算力学	小石 正隆	横浜ゴム(株)	計算力学によるイノベーション創出
11.15	機械材料・材料加工	村井 勉	(元)三協・立山ホールディングス(株)	企業から見てM&Pはどう使えるか
11.25	機素潤滑設計	西岡 岳	(株)東芝	企業会員から見た機素潤滑設計部門の活動
11.35	設計工学・システム	加藤 廣	デジタルプロセス(株)	ここまで定着した自動車のデジタル開発
11.45	生産加工・工作機械	家城 淳	オークマ(株)	工作機械の知能化が，技術伝承を促す
11.55	生産システム	光行 恵司	(株)デンソー	モノづくり競争力強化へ貢献する生産システム部門の方向性
13.05	エンジンシステム	竹内 誠	(株)サクシオン瓦斯機関製作所	スターリングエンジンの新たな可能性を探る
13.15	動力エネルギーシステム	梅沢 修一	東京電力(株)	電力需給切迫時の既設火力の給水ヒータバイパスによる増出力
13.25	環境工学	鈴木 康夫	JFE エンジニアリング(株)	清掃工場の防災拠点化への提言とその後
13.35	産業・化学機械と安全	戸枝 毅	富士電機(株)	カッコいいニッポンの技術「ものづくり安全」
13.45	技術と社会	権上かおる	(株)アグネ技術センター	学会から社会へ・社会から学会へ—イブニングセミナーの取り組みから—
14.10	バイオエンジニアリング	大久保忠紀	テルモ(株)	医療機器に関わる国際標準化への取組み
14.20	ロボティクス・メカトロニクス	西澤 泉	(株)小松製作所	ロボティクス・メカトロニクスと建設機械
14.30	情報・知能・精密機器	吉田 和司	日立オムロンターミナルソリューションズ(株)	産学連携，学際領域活動への取組み
14.40	交通・物流	末富 隆雅	マツダ(株)	環境と安全の課題に挑む交通と物流
14.50	宇宙工学	中村 和行	(株)テクノソルバ	宇宙産業の発展のために
15.00	マイクロ・ナノ工学	岡田 亮二	(株)日立製作所	企業研究者における学会の価値

当日の発表資料は <http://www.jsme.or.jp/> 「学会からのお知らせ」欄をご覧ください。

◆次期会長に久保司郎が内定



日本機械学会の2014年度(第92期)会長に摂南大学・教授(大阪大学名誉教授)の久保司郎(くぼ・しろう)の就任が内定しました。4月18日の2013年度(第91期)定時社員総会後に就任いたします。

【新会長の略歴】

1948年生まれ、大阪大学大学院修了、1976年に大阪大学勤務、1990年に同大学教授、2013年4月から現職。

専門分野：材料力学

◆日本機械学会の今後の主要行事予定

4月18日	2013年度(第91期)定時社員総会 (会場：明治記念館)
7月中旬～下旬	2014年度「機械遺産」発表 (8月7日「機械の日」に認定)
7月下旬～8月上旬	展示会「日本の先端科学技術の紹介」 (会場：国立科学博物館) ・学会賞(技術)、優秀製品賞、機械遺産の紹介 ・絵画コンテスト表彰
8月7日	機械の日・機械週間記念行事 (会場：早稲田大学国際会議場) ・記念講演 ・「機械遺産」認定表彰 ・デザインコンテスト表彰
*機械の日(8/7)・機械週間(8/1-8/7)を中心に全国各地で関連行事を開催予定	
9月7日～10日	年次大会 (会場：東京電機大学 東京千住キャンパス) 「持続可能な日本の技術を支える産官学の連携」 ー今、求められている、産学人材交流と人材育成とは？ー ～次世代モビリティ、グローバル化、減災・災害防止～

【ニュースリリースに関するお問い合わせ先】

〒160-0016 東京都新宿区信濃町35番地 信濃町煉瓦館5階
一般社団法人日本機械学会
学会運営部門 会員・情報管理グループ 井上 理
電話(03)5360-3503/FAX(03)5360-3508
E-mail: inoue@jsme.or.jp